

東北医科薬科大学 医学部
在学生及び保証人 各位

東北医科薬科大学 医学部
医学部長 大野 勲
教務委員長 小澤 浩司
学生委員長 鈴木 昭彦

医学部における新型コロナウイルス感染症への対応について
(2022年度(令和4年度)後期授業の実施方針)

医学部の運営に関して、日頃よりご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

いまだ新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、変異株の発生など予断を許さない状況が続いておりますが、医学部では、十分な感染症対策を講じての対面授業(又は一部オンライン授業)・体験学習・臨床実習・大学主催の各種イベント・課外活動の実施等、学生生活全般において、これまで、段階を踏みながら慎重に進めてまいりました。

また、今年度の後期授業については、今般の社会情勢や他大学の状況、学内での新型コロナウイルス感染症の発生状況等を勘案し、引き続き十分な感染症対策を講じて、安全な教育環境を提供しながら、全学年において、全面的に対面形式にて行うことといたします。

なお、学生には感染対策として以下の事項を引き続き周知しておりますので、ご承知おきください。

【在学生に周知している「キャンパス入構ルール」及び「日頃の体調管理・感染対策の徹底」について】

<入構ルール>※2021年12月から「COVID-19アクションプラン」を運用開始

- ・キャンパス入構にあたっては、アクションプランで定めるレベル(現在「レベルⅢ」)に応じて、
入構当日の検温報告を必須とします。

検温報告は、「起床後～キャンパス入構前まで」に行うこと。上記の検温報告があり、かつ発熱・症状がない場合に限り、キャンパスに入構が可能となります。なお、アクションプラン及び現在のレベルについては、以下のURLから確認できます。

【URL】大学ホームページ>学部>医学部>医学部指定通学日について

<日頃の体調管理・感染対策の徹底>

- ・毎日、検温報告をすること：なお、体温が37.0℃以上もしくは体調が少しでも悪い場合は、通学せず自宅に待機したまま(8:30以降に)必ず保健管理センターに連絡すること。

(発熱・体調不良のまま入構することは、集団感染のリスクを高める行為であり、絶対にしないでください。

医学生としての自覚と、感染対策について高い意識を持った行動をお願いします。)

- ・通学時・キャンパス内ではワクチン接種の有無にかかわらず、不織布マスク常時着用する。飲食時以外は外さない。
飲食時は「黙食」を徹底すること。
- ・こまめに手洗いと手指消毒を実施する。建物に入る度に必ず手指消毒する。
- ・距離・間隔を保つ。会話時は不織布マスクを正しく着用し少なくとも2m以上あける。

(飲食時を含めて、マスクを外した状態での会話は、感染リスクを高める行為ですので、絶対にしないでください。)

- ・3密を避ける。会合や飲み会の自粛。
- ・県外への往来については、やむを得ない理由(忌引き等)であり、かつWeb申請する等のルールを遵守すること

今後の状況によっては、学生の感染防止・安全確保の観点から、上記の方針を変更する可能性もございますが、随時、感染症の専門家の助言を踏まえて、安全な教育環境の提供に努めてまいります。学生の皆さんをはじめ、証人の皆様の不安を少しでも解消できるよう、教職員一丸となって取り組んでおりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。